

花巻ファーマー

多収穫の良食味米「ほむすめ舞」と 農業体験に力を注ぐ

田園を見渡す景色が人気の円万寺観音山。そのふもとの田園で、稲作やグリーン・ツーリズムに取り組むのは、畠山祐之さんが代表を務める合同会社米屋・重右工門です。

会社は、前身の任意組合を令和3年に法人化。社員4人とパート9人で、40畝の水田を手掛けています。

コメの主力品種は「ほむすめ舞」。民間が開発し、多収穫で良食味が特徴の品種です。卸問屋を通じて病院・介護食専門業者へ販売するルートが確立されていて、安定した経営につながっています。また、ほむすめ舞の育成者権を持つ事業者から種子作りを引き受けたり、県内農家の育苗を支援したり、品種の拡大にも取り組んでいます。



畠山 祐之 さん

(湯口 66歳)

●合同会社 米屋・重右工門

【住所】湯口字根岸50-1

【問い合わせ】ryuemon@image.ocn.ne.jp

令和4年からは農業体験の受け入れを開始。「コメ以外の事業は、損しない程度に楽しいことを」という考えから、農業体験の事業化を決めたそう。主に小中学生へ、田植え体験のほか、オニヤンマのブローチ工作やカレイ型の箸置き（写真参照）の陶芸など、多彩でユニークな体験を提供しています。

子どもたちに農業を教えるもたちからは、パワーをもらえるね」と、楽しそうに顔をほころばせていました。



オニヤンマのブローチとカレイ型の箸置き



工作や陶芸は地域の仲間が丁寧に教える

はなまき 環境だより 第16回

ごみの分別方法教えます ごみ減量アドバイザー

ごみの減量や資源化の増進を目指し、市では平成30年度から「ごみ減量アドバイザー」を採用しています。今回は、ごみ減量アドバイザーの活動の一部を紹介します。

ごみ集積所での分別状況調査と指導

ごみが出される時間(午前7時30分～8時30分ごろ)に市内各地のごみ集積所へ行き、分別状況を調査しています。また、ごみを出す人に排出できるごみの種類や分別方法などの指導、課題の聞き取りなどを行っています。

これらの指導や調査によって得られた情報をもとに、好事例などの情報提供を予定しています。



▲昨年度開催したふれあい出前講座の様子

ふれあい出前講座でごみ分別の疑問を解決

町内会や老人クラブなどへ出向き、市のごみ処理状況やごみの減量化、資源化、分別方法などを詳しく説明します。分別方法について、皆さんが普段感じている疑問を解決し、その情報を共有できることから、受講された皆さんから好評をいただいています。

ふれあい出前講座は、10人以上の市民などで構成する団体が利用できます。利用を希望する場合は、本館生活環境課(☎41-3544)までご相談ください。

市内企業
紹介

花まき❖いいモノ・いいコト

◎企業情報
湯本7-197-1
☎29-4120
(午前9時30分～午後6時。土・日・祝日を除く)

株式会社トップクルー 岩手ドローンセンター



①



②



③

①緑の看板が目印の岩手ドローンセンター②代表取締役の古舘裕三さん③農業散布講習で受講者がドローンを操縦する様子

株式会社トップクルーは「空の産業革命」を掲げ、主に農業用ドローンの販売、教習、整備などを行っている会社です。昨年4月にショールーム、教習用の教室、整備棟を備えた「岩手ドローンセンター」を開設しました。

人手不足や高齢化が進む農業課題をドローン活用で解決したいと考えていた、代表取締役の古舘さん。平成29年8月に花巻市ビジネスインキュベータ内で、農業用ドローンの販売と教習を開始しました。現在は、県内をはじめ、青森県、宮城県などでも事業を展開しています。

教習の最初の受講者はなんと70歳だったそう。始めは不安そうな受講者でしたが、教習を経て自信を持ち、ドローンで農業散布などを行えるようになりました。「誰でもドローンを使えるように、力になりたい」と意気込む古舘さんは、今日も教習指導に励みます。



市ホームページ

*市では、農業用ドローンの購入や教習に係る費用を一部支援しています。詳しくは農政課(☎23-1400)へお問い合わせください

広げよう 活動の輪

市民活動団体紹介

創造力豊かな心を育む
NPO 法人
**花巻少年少女
創造活動支援協会**

花巻少年少女創造活動支援協会は、平成18年に設立したNPO法人。子どもたちがものづくりに親しむ機会をつくるため、市内でものづくりを通じた人材育成を行っている団体を支援しています。現在、116の企業がこの活動に賛同し、会員となっています。

支援先の一つである「花巻少年少女発明クラブ」は、小学3～6年生を対象としており、松園振興センターを拠点に活動。基礎・中級・応用の3コースに分かれ、指導員のもと、のこぎり・やすり・はんだなどを使い、楽しみながらものづくりに取り組んでいます。

「子どもたちが自ら考え、成長していく姿が見られるのはうれし。科学技術やものづくりの知識を付けて、未来の花巻を担う存在となつて欲しい」と、理事長の高橋豊さんは笑顔を見せます。



①

①_4月13日に行われた花巻少年少女発明クラブ開講式での集合写真
②③_中級コースで指導員に教わりながら、木材を加工する子どもたち



②



③

*花巻少年少女創造活動支援協会は会員を募集しています。詳しくは問い合わせ先へ

【問い合わせ】
NPO法人 花巻少年少女
創造活動支援協会
事務局長 阿部 教男さん
(☎29-4851)